



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2017年度 NO.2

■目次

- ・第19回大会準備状況報告
- ・理事会報告
- ・臨時総会報告
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・企画研究WG報告
- ・楨本記念賞WG報告
- ・2018年度高良記念研究助成募集
- ・支部活動報告
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報

第19回大会準備状況報告

2018年9月3日(月)・4日(火)の2日間、日本インターンシップ学会第19回大会を香蘭女子短期大学にて開催いたします。今大会のテーマは、「地域との連携強化とインターンシップの今後のあり方」です。ご承知のとおり、平成26年4月8日付で文部科学省、厚生労働省、経済産業省が連名で『「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」の見直しの背景及び趣旨について』を発表しました。インターンシップを通じての学生の学びについて、『大学等は、課題発見・探求能力、実行力といった「社会人基礎力」や「基礎的・汎用的能力」などの社会人として必要な能力を有する人材育成が求められており、その有効な手段として、学生が産業や社会についての実践的な知見を深める機会であるインターンシップの推進が必要と考えられています』とし、大学側の深い関与(単位化等)、企業側には事業の継続性等を求めています。一方で、就職活動時期が毎年のようにめまぐるしく変わるようになり、上記のような本来のインターンシップの目的とかけ離れたいわゆる「1Dayインターンシップ」のような事例も多く見受けられるようになってきました。しかしながら、九州内だけを見渡しても、「中長期・実践型インターンシップ」の事例も増え、学生たちの成長の場が着実に根付きつつあるように思われます。

こうした時代の変化、環境の変化を受け、本大会では、「地域」との繋がりを強化することを通じて、地域の活性化を図ることを大きな目標とし、これからのインターンシップのあり方について、多くの知見を集め、討議できればと考えております。また、今回は、4年ぶりの福岡県での開催ですので、地域



の特性を前面に出したいと考えています。具体的には、香蘭女子短期大学は、福岡市内(南区)にありますが、福岡市は現在、「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」に選ばれるなど、「起業」が盛んな地域として知られています。また、「福岡スタートアップカフェ」等の支援も近年得られるようになり、博多駅周辺や天神地区では「起業家」が集まる地域も出現し、地域の活性化に繋がっているようです。こうした地域特性を鑑み、大会初日は、「起業とインターンシップ」をテーマに基調講演をしていただく予定にしております。また、続くシンポジウムにつきましても、従来あまり取り上げられてこなかった「起業」を目指したインターンシップの可能性や、事例紹介などを通じ、サラリーマンとして活躍する道だけではなく、「起業家」としての道も示すことにより、これからのインターンシップのあり方について検討できればと考えています。

2日目は、恒例の高良記念研究助成発表を行った後、会員による自由研究発表を行います。近く、第19回大会のウェブサイトを立て上げますので、研究発表のお申し込み、大会参加のお申し込み等は、大会ウェブサイトをご活用ください。詳細はウェブサイト及び大会開催要項(6月末頃に発送予定)でご確認をお願いいたします。

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2017 No.2

発行日：平成 30 年 5 月 31 日

発行：日本インターンシップ学会 会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 高橋 秀幸

印刷：日本インターンシップ学会事務局 事務局長 根木 良友

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学キャリアセンター内

E-mail : jsi-sec@js-internship.jp

Tel : 042-739-8915 Fax : 042-739-8921